



問いかけKY

I. 問いかけKYとは

- ・作業前のミーティング等を活用して行います。問いかけに対し作業者が回答し会話することで、作業者自らが考え、事故防止の取組みにたどり着くように深掘りしていきます。また、その日の作業について問いかけすることにより、必然的に実際の作業に合ったKYとなります。
- ・この手法は安全パトロール時の作業者への 声かけ にも活用できます。

II. やり方

- ①リーダー(問いかけ者)が作業者に問いかけ、会話を繰り返しながら深掘りしていく
- ②更に深掘りし事故防止の取組み(対策)までたどり着いたら、タッチアンドコールを実施

【実施例】

リーダー：「〇〇さん、今日はどのような作業がありますか？」

作業者：「今日は●●作業をします」

リーダー：「●●作業をするにあたり、何に注意して作業をしますか？」

作業者：「今日は脚立を使うので転落に注意したいと思います」

リーダー：「今日の作業だとどういう時に転落する可能性がありますか？」

作業者：「横の作業範囲が広いので身を乗り出して転落するかもしれません」

リーダー：「なるほど、つつい横に伸び上って作業したくなりますよね。どうしたら防げと思いますか？」

作業者：「身を乗り出さなくていいように、こまめに脚立を移動して作業しようと思います」

リーダー：「では、その内容でタッチアンドコールをしましょう。〇〇さんお願いします。」

作業者：「はい、『脚立はこまめに移動する、ヨシ！』で唱和したいと思います。
タッチ型でいきます。構えて!!」

脚立はこまめに
移動する、ヨシ!!



タッチアンドコール

I. タッチアンドコールとは

- ・指差し唱和の一種であり、その特徴はチーム全員が触れ合いながら行う点である
- ・全員でスキンシップを取ることで一体感・連帯感を高め、チームワークづくりに役立つと同時に、頭に良いイメージを叩き込み、無意識にも安全な行動をするように、ウツカリ・ボンヤリしないようするのがねらい

II. やり方

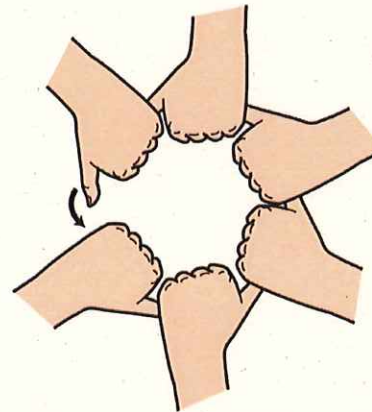
リーダーが「〇〇型でいきます」とメンバーに伝えたあと、指差し唱和と同様にリーダーの「構えて」を合図にメンバーは中央を指さして「ヨシ！」と応え、リーダーの「～ヨシ！」に続いて全員で「～ヨシ！」と指差し唱和する。

①タッチ型（7～8人以上）



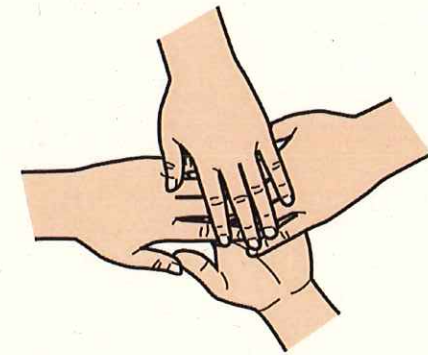
- ・円陣をつくる
- ・左隣りの人の右肩に左手を置く
- ・右手人差し指で円陣の中央を指す

②リング型（5～6人）



- ・円陣をつくる
- ・左手で左隣りの人の親指をにぎり合いリングをつくる
- ・右手人差し指で円陣の中央を指す

③手重ね型（4～5人以下）



- ・円陣をつくる
- ・リーダーは手のひらを上向きにして左手を出す
- ・メンバーはその上に左手のひらを下向きにして重ね合わせる
- ・右手人差し指で円陣の中央を指す

①タッチ型



②リング型



③手重ね型

